

遠野

観光ガイドブック

TONO

| 岩手県 | 遠野市 |

ようこそ、民話の里へ



遠野郷にはこの類の物語
なお数百件あるならん。



『遠野物語』第二話

三山の女神

若き三人の女神
おのの三の山に住し
今もこれを
領したもう故に、
遠野の女どもは
その妬みを畏れて
今もこの山には
遊ばずといえり。



『遠野物語』第五九話

河童

外の地にては河童の顔は
青しというやうなれど、
遠野の河童は
面の色緒きなり。



我々はより多くを
聞かんことを切望す。

山の神

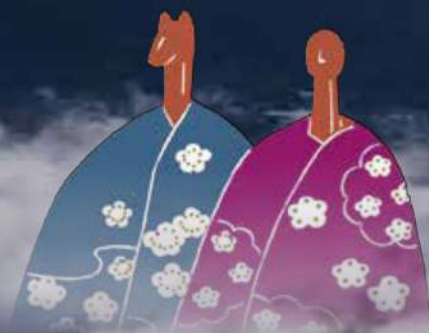
山の神たちの
遊べるところを
邪魔したる故、
その祟りをうけて
死したるなりといえり。



『遠野物語』第六九話

オシラサマ

たちまち娘は
その首に乗りたるまま
天に昇り去れり。
オシラサマというは
この時より成りたる神なり。



『遠野物語』第七七話

ザシキワラシ

旧家にはザシキワラシという
神の住みたもう家少なからず
この神は多くは
十二三ばかりの童児なり
おりおり人に
姿を見することあり。



願はくは之を語りて
平地人を戦慄せしめよ

『遠野物語』序文

伝説が今も語り継がれる町

日本民俗学の先駆者

日本民俗学の父 柳田 國男

1875-1962。兵庫県福崎町出身。官僚として全国の農村を研究し、のちに日本民俗学という新しい学問を作りました。『遠野物語』発刊前年の1909年に遠野を訪問しています。

写真提供 遠野市立博物館



日本のグリム 佐々木 喜善

1886-1933。遠野市土淵町出身。作家を目指し上京中に、友人を介して柳田に出会い、柳田に郷土の話を読んだのが『遠野物語』誕生のきっかけ。生涯にわたり民話の収集や研究を続けました。

写真提供 遠野市立博物館



『遠野物語』とは

遠野出身の佐々木喜善が語った不思議な話を柳田が聞き書きし、119話にまとめた説話集。日本民俗学の先駆けと称され、文学的にも高い評価を得ています。

写真提供 遠野市立博物館



民俗学者の柳田國男が
1910年に刊行した書籍
『遠野物語』は
多くの人々に
読み継がれています。

そんな『遠野物語』の
舞台となった
岩手県遠野市は今なお
河童や天狗といった妖怪、
山の神、水の神、
ザシキワラシや
オシラサマなど
独特な信仰や風習と
共存しているのです。

遠野の旅は、 ここからはじまる――

MAP E-3

遠野市立博物館

国内屈指の民俗専門の博物館。『遠野物語』を軸にして資料を展示しているため、最初にここを訪れることで物語への理解が深まります。

図 JR遠野駅から約0.7Km／徒歩で約9分
図 9:00～17:00(入館受付は16:30まで)
図 一般 310円／高校生以下 160円 ※未就学児童無料
☎ 0198-62-2340

語り継がれる 物語を聴きに行こう

昔あった
ずもな



遠野に伝わる数多くの音話を、方言たっぷりに語ってくれるのが「語り部」さん。遠野では雰囲気満点の語りで、聴く人を物語の世界へ誘います。

とおの物語の館

4月～11月は3回/日
(冬季期間は土日祝のみ1回/日)

伝承園

4月第4週土曜日～10月の土日祝

あえりあ遠野

宿泊者向け

実演時間は
こちらを
チェック！
↓



物語の世界を 知る

歴史や文化を
知ることによって遠野の
“ふしぎ”を紐解く
鍵を手に入れよう

MAP F-3

目と耳で物語に浸る

とおの物語の館

この地に伝わる昔話を映像や音で楽しむ体験型施設。「柳田國男展示館」もあります。

図 JR遠野駅から約0.5Km／徒歩で約7分
図 9:00～17:00(入館受付は16:30まで)
図 一般 600円／高校生以下 300円
☎ 0198-62-7887

↓公式HP



MAP C-1 かつての暮らしにタイムスリップ！

遠野ふるさと村

馬と人が暮らした南部曲り家をはじめ、山里の暮らしを再現しています。

図 JR遠野駅から約10km／車で約15分
図 3月～10月 9:00～17:00(入村受付は16:00まで)
11月～2月 9:00～16:00(入村受付は15:00まで)
図 一般 750円／高校生以下 400円
☎ 0198-64-2300



MAP D-2 乗用馬市場が毎年開かれる本州唯一の地

遠野馬の里

競走馬や乗用馬の育成調教施設。乗馬やふれあい体験(要予約)もあり。

図 JR遠野駅から約8Km／車で約14分
図 乗馬教室 金曜日13:00～(45分)／土曜日13:00～(45分)
日曜日11:00～(45分)／厩舎や施設見学自由
☎ 0198-62-5561/080-1656-4892(専用携帯番号)



物語が生まれた
背景を知る
この地に語り継がれる数々の物語。
そこには遠野で生きる人々の、
厳しくも温かい暮らしがありました。



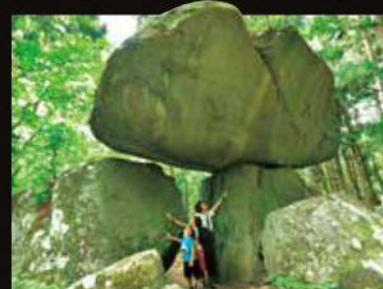
MAP B-3

『遠野物語』第九十一話
人とは思えぬ赤い顔の男女
ここは山の神たちの遊び場だった

続石

2つ並んだ石の片側にのみ、幅7m×奥行き5m×厚さ2mほどの巨石が乗っている不思議な場所。弁慶が積んだという説もあります。

図 JR遠野駅から約9Km
車で約13分／駐車場から徒歩で約15分



MAP C-3

『遠野物語拾遺』第三十五話
かつて大きな淵がありここに願をかけると不思議と男女の縁が結ばれた

卵子酉神社

恋愛の神様として知られる小さな祠。卵子酉様ともよばれます。境内にある無人売店で赤い布を買い、左手で木に結ぶことができれば恋が叶うと言われていました。

図 JR遠野駅から約2Km／車で約4分



MAP D-2

『遠野物語』第五十八話
川へ引きずり込まうとするいたずら好きなカッパがいるという

カッパ淵

常堅寺の裏手で、澄んだ水が音もなく静かに流れるカッパ淵。かつてはここに多くのカッパが住んでいたという伝説が残っています。

図 JR遠野駅から約6km／車で約10分
※カッパ淵に駐車場はありませんので、伝承園・カッパ淵大型駐車場をご利用ください。

市内各地の『遠野物語』と
由縁のある場所や情景が
残る民話の里を
散策しよう

巡る 物語の舞台を

●『遠野物語』ゆかりの地

MAP D-2

『遠野物語』第六十九話
馬を愛し、ともに天へ昇った一人の女
人々はこれをオシラサマとして祀った

伝承園

民話の世界が体感できる施設。園内には国指定重要文化財の南部曲り家や佐々木喜善記念館、オシラサマを祀った御壺神堂などがあります。

図 JR遠野駅から約5Km／車で約9分
図 3月～11月 9:00～17:00(入園受付は16:30)
12月～2月 9:00～16:00(入園受付は15:30)
図 一般 450円／高校生以下 350円
※未就学児童無料
☎ 0198-62-8655



MAP D-2

『遠野物語』第百十一話
昔は六十を超えた老人はデンデラノに
追いやられたと言われていた

山口集落

老人たちが暮らしたデンデラノをはじめ、物語の舞台が多く残る場所。『遠野物語』と関連した独特の集落景観は国の重要文化的景観に選定されています。

図 JR遠野駅から約12km／車で約20分

